

# 新年のごあいさつ



蒲郡市長  
鈴木 寿明

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

蒲郡市長に就任してから1年が経過いたしました。この1年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症への対応に奔走した1年でありました。2月下旬に市対策本部を設置、市内小中学校の臨時休業、政府と愛知県独自の緊急事態宣言が発出するなど、去年は例年と大きく様変わりしました。

明るい話題として、蒲郡市出身で漫画家の大橋裕之さんの作品で、俳優の竹中直人さん・山田孝之さん・齊藤工さんが監督でオール蒲郡ロケをした映画「ゾッキ」、俳優の古田新太さん・松坂桃李さんが共演した映画「空白」、これら2つの映画ロケを誘致することができました。今年の全国公開を予定しており、本市のシティセールスに繋がっていくことを大いに期待しております。

今年も引き続き「蒲郡市民憲章三つの誓い」にある、ひとづくり・いえづくり・まちづくりを市政の原点として、市民一人ひとりが希望と幸せを実感できるまちを目指してまいります。

「ひとづくり」では、新型コロナウイルス感染症などの有事を見通して、令和2年度中に全学年の児童生徒1人1台のタブレット端末を導入し、あわせてオンライン授業の環境整備を整えてまいります。

「いえづくり」では、水竹公園のオープンに続き、双太山公園をリニューアルして健康遊具やウォーキングコースを整備いたしました。今後も自主的な健康づくりの推進に取り組んでまいります。

また、南海トラフ地震の発生などを想定した訓練を通して、関係機関としっかり連携を取りながら、安全・安心な蒲郡を推進してまいります。

「まちづくり」では、新型コロナウイルス感染症対策基金を活用して、売上額が減少した中小企業者などを支援する蒲郡市独自の支援金給付、プレミアム付商品券や食事券、クラウドファンディングを活用した「がまごおり未来チケット」の販売など、市内経済の活性化を図ってまいりました。今後も市民の皆様にとって、何が必要な支援かを常に考え、効果的な対策を講じてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、いまだに先が読めない状況ではありますが、今後も官民一体となってこの厳しい局面を乗り越え、蒲郡市の発展に向けたまちづくりを進めてまいります。

最後になりますが、今年一年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。